

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

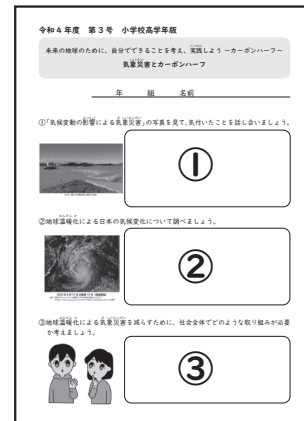
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介いたします。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～ 気象災害とカーボンハーフ

①表題



②ねらい

- ・地球温暖化の影響による気象災害について知り、その原因や環境への影響について理解する。
- ・日本の地球温暖化による気候変化について調べる。
- ・東京都の温室効果ガス削減の取組「カーボンハーフ」について、実践しようとする態度を育成する。

③本教材で扱う 主な内容

地球温暖化の影響による気象災害、地球温暖化による日本の気候の変化、カーボンハーフ

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 掲示用教材①を見て、近年、地球温暖化による気象災害が急速に拡大していることを知る。 ○ 掲示用教材①の写真を見て、気付いたことを話し合う。	○ 気候変動などによる被害の数が5倍に増えていること、人間の影響によるものであることを説明する。 ○ 気付いたことを発表させる。	◆ 掲示用教材① ◆ ワークシート①
○ 掲示用教材②を見て、地球温暖化と強雨・台風の関係に注目する。	○ 地球温暖化と日本における強雨及び台風との関係について理解させる。	◆ 掲示用教材② ◆ ワークシート②
○ 掲示用教材③を見て、日本の地球温暖化による気候変化について調べる。	○ リンク等を参考にして調べさせる。	◆ 掲示用教材③ ■ 地球温暖化による気候の変化について調べてみよう。 【気象庁 地球温暖化】
○ 掲示用教材④を見て、カーボンハーフについて理解する。	○ 地球温暖化を食い止め、気象災害を減らすためにはカーボンハーフの取組が不可欠であることを伝える。	◆ 掲示用教材④
○ 掲示用教材⑤を見て、気象災害を減らすために自分たちに何ができるか話し合う。	○ 地球温暖化による気象災害を減らすために、社会全体で取り組むべきことについて話し合わせる。	◆ 掲示用教材⑤ ◆ ワークシート③ ■ 【環境学習動画】みんなで進めよう！HTT第1回H[へらす]編】 【東京都環境局】



令和4年度 第3号 小学校高学年版

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～

気象災害とカーボンハーフ

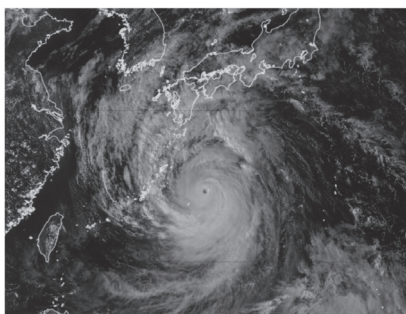
年 組 名前

①「気象変動の影響による気象災害」の写真を見て、気付いたことを話し合いましょう。



2019年 台風19号で冠水した新田川 (埼玉県)

②地球温暖化による日本の気候変化について調べましょう。



2022年9月17日 台風第14号 (衛星画像)

出典：気象庁ホームページ「台風第14号の今後の発達について」
(<https://www.jma.go.jp/jma/press/2209/17a/kaisetsu.pdf>) より抜粋

③地球温暖化による気象災害を減らすために、社会全体でどのような取り組みが必要か考えましょう。

